

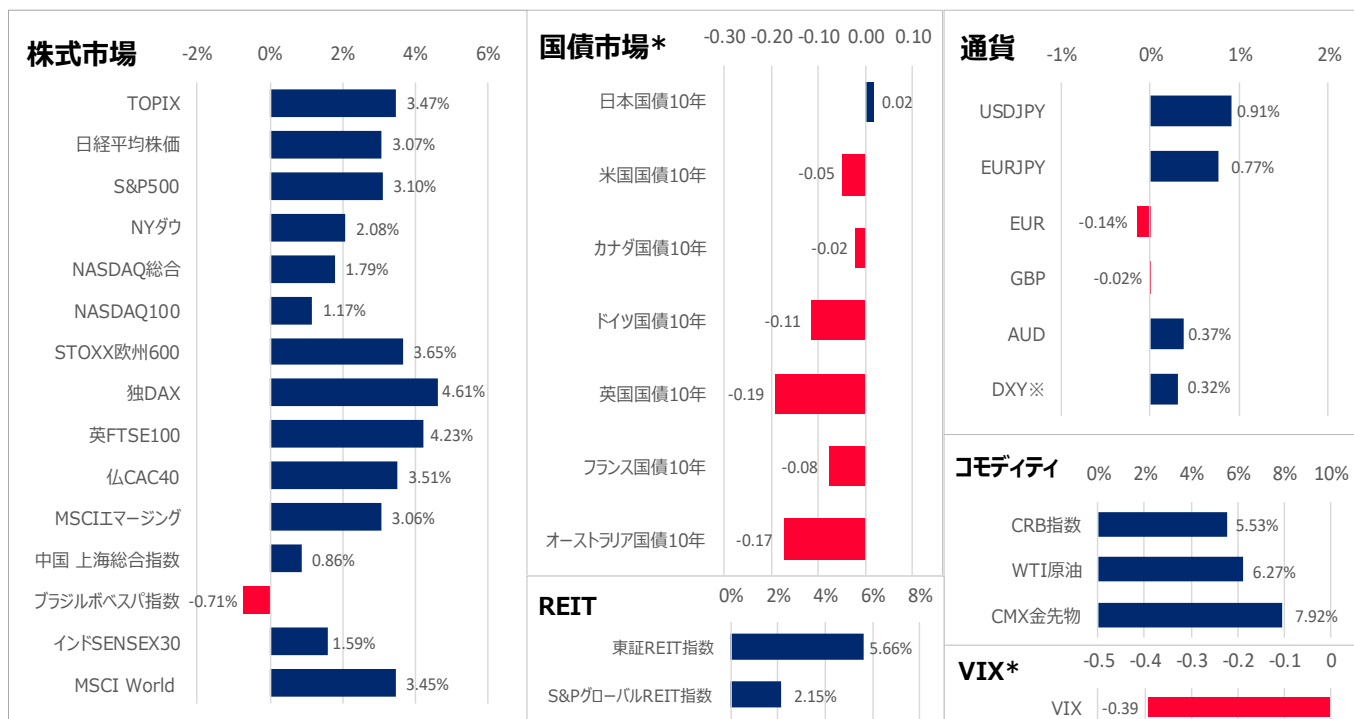
マンスリーレビュー & アウトルック

2024年4月

2024年3月の市場概況

- ＜株式＞** グローバル株式は、足元の相場上昇を受けて利食い売り圧力が高まったことが重石となり、中旬まで上値の重い展開。その後は、早期の利下げ期待を下支えに上昇基調で推移した。日本株は、3月の日銀政策決定会合でマイナス金利政策が解除されるとの警戒感から、中旬にかけて弱含む場面もあった。
- ＜債券＞** 米欧の国債利回りは、米連邦準備理事会（FRB）議長のハト派的な議会証言や欧州中央銀行（ECB）理事会でのインフレ見通しの引き下げなどを背景に低下するも、その後は上昇に転じるなど方向感の無い動き。中旬以降は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で年内3回の利下げ見通しが維持されたことを受けて、再び低下基調で推移した。
- ＜為替＞** パウエルFRB議長の議会証言を受けて米金利が低下する中、上旬の米ドルは軟調に推移。その後は、日銀の緩和姿勢が当面維持されるとの見方や、ECB高官発言を受けて欧州の早期利下げ観測が強まったことなどから、ドルは円やユーロに対して反発する動きとなった。

2024年3月（2/29～3/29）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、*は騰落幅。

※DXYは主要通貨に対する米ドルの強さを示した指数。

株式

OUTLOOK
プラス要因

- 米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待
- 米欧のインフレ圧力の後退

OUTLOOK
マイナス要因

- 米欧の利下げ観測の後退
- 米欧のインフレ圧力の再燃

	2024/3/29	過去1か月	3か月	年初来
TOPIX	2,768.62	3.47%	17.00%	17.00%
日経平均株価	40,369.44	3.07%	20.63%	20.63%
S&P500	5,254.35	3.10%	10.16%	10.16%
NYダウ	39,807.37	2.08%	5.62%	5.62%
NASDAQ総合	16,379.46	1.79%	9.11%	9.11%
NASDAQ100	18,254.69	1.17%	8.49%	8.49%
STOXX欧州600	512.67	3.65%	7.03%	7.03%
独DAX	18,492.49	4.61%	10.39%	10.39%
英FTSE100	7,952.62	4.23%	2.84%	2.84%
仏CAC40	8,205.81	3.51%	8.78%	8.78%
MSCIエマージング（現地通貨建て）	166,715.10	3.06%	4.57%	4.57%
中国 上海総合指数	3,041.17	0.86%	2.23%	2.23%
ブラジルボブスバ指数	128,106.10	-0.71%	-4.53%	-4.53%
インドSENSEX30	73,651.35	1.59%	1.95%	1.95%
MSCI World（現地通貨建て）	12,469.90	3.45%	10.22%	10.22%

国内株式：

- ◆ 上旬は、米長期金利の低下を好感して上昇して始まるも、**日銀がマイナス金利政策を解除するとの警戒感**や円高ドル安の進行を背景に反落するなど、不安定な展開
- ◆ 中旬は、日銀政策決定会合の声明で**緩和的な金融環境が継続するとの見通し**が示されたことから、上昇基調で推移した
- ◆ 月末にかけては、本邦当局による為替介入への警戒感から円安一服の動きとなったことから、上値の重い動きに

米国株式：

- ◆ 米金融政策の先行きへの思惑に左右される展開となる中、足元の相場上昇を受けて利食い売り圧力が高まったことが重石となる一方、**FRB議長のハト派的な議会証言**が買い材料視されるなど、中旬まで方向感無く推移
- ◆ その後は、ハイテク銘柄中心に買いが入ったことや**FOMCで年内3回の利下げ見通しが維持**されたことなどを背景に上昇基調で推移、主要株価指数は史上最高値を更新

欧州株式：

- ◆ ECB理事会で**経済成長率とインフレ率の見通しが引き下げ**られたことを受けて、早期利下げ観測が強まったことから、上昇して始まった
- ◆ その後は、米物価指標の上振れやFOMCの結果発表を控えて買いが手控えられたことなどから、上値の重い動きに
- ◆ 月末にかけては、ユーロ圏の景況感に回復の動きがみられる中、**スイス中央銀行の予想外の利下げ**が買い材料視されるなど、上昇基調で推移した

債券

OUTLOOK
プラス要因

- 米欧でのインフレ鈍化を背景とした早期利下げ開始期待
- 世界経済の減速、地政学リスクを背景としたリスク回避の動き

OUTLOOK
マイナス要因

- 米欧での緩慢なデスインフレを背景とした金融緩和観測の後退
- 世界的な株高を背景とした安全資産としての債券の魅力度後退

	2024/3/29	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)	(利回り騰落幅)		
日本国債10年	0.72	0.02	0.11	0.11
米国国債10年	4.20	-0.05	0.32	0.32
カナダ国債10年	3.47	-0.02	0.36	0.36
ドイツ国債10年	2.30	-0.11	0.27	0.27
英国国債10年	3.93	-0.19	0.40	0.40
フランス国債10年	2.81	-0.08	0.25	0.25
オーストラリア国債10年	3.96	-0.17	0.01	0.01
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		1.17%	-0.12%	-0.12%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+0.93	-0.07	-0.11	-0.11
USDハイイールド社債_トータルリターン		0.86%	1.54%	1.54%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+3.29	-0.17	-0.13	-0.13

日本国債：

- ◆ 日本10年国債利回りは小幅上昇。月を通じて0.7%台を中心に推移した
- ◆ 10年国債入札が無難な結果となったことや米国債利回りの低下で、上旬の日本10年国債利回りは軟調に推移
- ◆ 春闘の賃金交渉で**想定を上回る賃上げ率が示されマイナス金利政策の3月解除の見方が強まった**
- ◆ 上記政策解除に関する観測報道や米国債利回りの上昇で、日本10年国債利回りは上昇に転じた
- ◆ 日銀は19日、**マイナス金利政策の解除など、金融政策の枠組みの見直しを決定**
- ◆ 事前の報道通りの政策決定で市場のサプライズはなく、その後日本10年国債利回りは低下

米国債：

- ◆ 米国10年国債利回りは小幅低下。月を通じて4%台前半で推移した
- ◆ 低調な企業景況指数や**FRB議長のハト派的な議会証言**を手掛かりに、同利回りは上旬に低下
- ◆ 2月の**物価関連指標が市場予想を上回る伸び**となり、同利回りは中旬に上昇に転じた
- ◆ 19日-20日のFOMCでは政策金利の据置きが決定。**年内3回の利下げ見通しは維持**された
- ◆ 利下げ回数の減少が市場で警戒されていたため、米国10年国債利回りは再び低下した

欧州債：

- ◆ 独10年国債利回りは低下。月を通じて2%台前半で推移した
- ◆ 7日のECB理事会で政策金利の据置きが決定。**インフレ見通しは下方修正**された
- ◆ 上記理事会後に、**ECB関係者から6月の利下げ開始を示唆、容認する発言**が相次いだ
- ◆ 独10年国債利回りは中旬には米国債利回りの上昇に連れたものの、域内インフレ低下や年央の利下げ開始が改めて意識され、下旬には低下に転じた
- ◆ 周縁国の対独国債利回りスプレッドは、まちまちの動きとなった

通貨

OUTLOOK
プラス要因

- 欧州景気の下振れリスク
- 米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待

OUTLOOK
マイナス要因

- 日銀の早期追加利上げ観測

	2024/3/29	過去1か月	3か月	年初来
USDJPY（米ドル/円）	151.35	0.91%	7.31%	7.31%
EURJPY（ユーロ/円）	163.30	0.77%	4.87%	4.87%
EUR（ユーロ/米ドル）	1.0790	-0.14%	-2.26%	-2.26%
GBP（英ポンド/米ドル）	1.2623	-0.02%	-0.85%	-0.85%
AUD（オーストラリアドル/米ドル）	0.6521	0.37%	-4.27%	-4.27%
DXY（米ドルインデックス）※	104.49	0.32%	3.11%	3.11%
CRB指数	290.29	5.53%	10.03%	10.03%
WTI原油	83.17	6.27%	16.08%	16.08%
CMX金先物	2,217.40	7.92%	7.03%	7.03%
VIX*	13.01	-0.39	+0.56	+0.56
東証REIT指数	1,794.97	5.66%	-0.66%	-0.66%
S&PグローバルREIT指数	174.31	2.15%	-1.98%	-1.98%

※DXYは主要通貨に対する米ドルの強さを示した指数

*期間騰落は変化幅

米ドル：

- ◆ 上旬、米金利が低下する場面では、146円台までドルが売られる展開
- ◆ 発表された2月の米消費者物価指数が予想を上回り、半ばにかけて米金利が上昇する場面ではドルが反発
- ◆ 日銀は、18～19日に開催した金融政策決定会合で、**マイナス金利政策の解除や長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の撤廃などを決定**したものの、おおむね事前報道通りで既に織込み済であったことや、当面緩和姿勢が維持されるとの見方から、19日の政策決定発表後も151円台をうかがう水準まで円安が進んだ
- ◆ 27日には一時151円97銭と**約34年ぶりの水準まで円安が進行**したものの、日本の通貨当局者による円安を牽制する発言などから介入警戒感も根強く、月末にかけては151円台を中心に上値の重い展開が続いた

ユーロ：

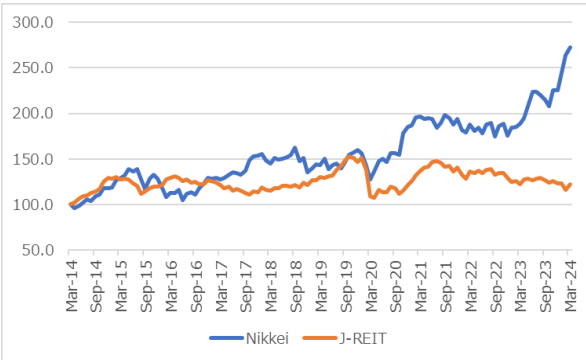
- ◆ 弱含みの米経済指標と、パウエルFRB議長の議会証言などから米金利が低下する中、上旬には1ユーロ＝1.10ドルに迫る水準までユーロ高が進んだ
- ◆ その後は、**複数のECB高官発言で欧州の早期利下げ観測が強まった**ほか、予想外のスイス中央銀行による利下げなどを受けて、ユーロは対ドルで下落基調をたどった
- ◆ ユーロ円レートは、上旬の円高局面で一時1ユーロ＝160円20銭近辺まで下落したものの、マイナス金利政策解除後も日銀はハト派的な姿勢を維持するとの見方から、1ユーロ＝165円台半ばまで円安が進んだ
- ◆ 月末にかけては欧州通貨安が進む中、ユーロ円レートも弱含み、1ユーロ＝163円台前半で月を終えた

今月のトピック

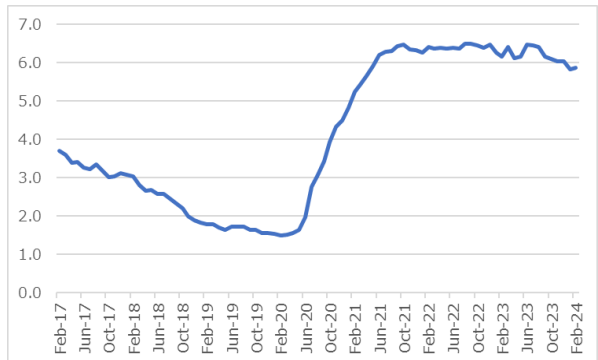
～ J-REIT市場と国内不動産市況 ～

- 東証リート指数は、金融政策変更と金利上昇に対する警戒感、オフィス市況の悪化懸念、相次ぐ公募増資による需給悪化などから、3月半ばには2020年11月以来の水準に下落しました。その後は急速に値を戻しましたが、日経平均株価が最高値を更新するなど日本株が上値を迫る動きとは対照的に、J-REIT市場は軟調な地合いが継続しています。（図表①）
- 東京湾岸エリアなどの一部地域では苦戦が続いていますが、東京都心5区のオフィス空室率（図表②）の上昇はピークアウトしていることや賃料も緩やかに上昇するなど、足元の国内不動産市況は総じて良好です。
- また、J-REITの予想分配金利回りは4%台半ばに上昇（図表③）しているほか、NAV倍率（株式投資の株価純資産倍率[PBR]に相当）は0.9倍程度に低下（図表④）するなど、バリュエーション面では十分に割安な水準にあるといえます。
- 内外不動産市況に対する警戒感は根強く残っていますが、世界的な株高が継続する中、今後の国内金利の上昇が限定的なものに留まった場合には、J-REIT市場は一段と上昇する可能性があると考えています。

（図表①） 日経平均株価と東証REIT指数の推移
（2024年3月末時点、2014年3月末を100として算出、月次データ）



（図表②） 東京都心5区のオフィス空室率
（2017年2月～2024年2月、月次データ、小数点第2位を四捨五入で表示）



（図表③） 予想分配金利回り
（2014年3月～2024年3月、月次データ）



（図表④） NAV倍率推移
（2014年3月～2024年3月、月次データ）



2024年4月のイベント

日本・中国		米国		欧州・その他	
1日	日銀短観(3月)、 中国財新製造業PMI(3月)	1日	ISM製造業景況指数(3月)	2日	ドイツCPI(3月)
3日	中国財新非製造業PMI (3月)	2日	JOLTS・製造業受注・耐久 財受注確報(2月)	3日	ユーロ圏CPI(3月)・失業率 (2月)
4日	日銀支店長会議、 日銀地域経済報告(4月)	3日	ISM非製造業景況指数・ ADP民間雇用統計(3月)	4日	ユーロ圏PPI(2月)
5日	日本家計支出(2月)	4日	貿易収支(2月)	5日	ユーロ圏小売売上高(2月)、 ドイツ製造業受注(2月)
8日	日本経常収支・毎月勤労統 計(2月)	5日	雇用統計(3月)	8日	ドイツ鉱工業生産・貿易収支 (2月)
		10日	CPI(3月)、FOMC議事要旨		
10日	国内企業物価指数(3月)、 日米首脳会談	11日	PPI(3月)	11日	ECB理事会
11日	中国CPI・PPI(3月)	12日	輸入物価指数(3月)、 ミシガン大学消費者信頼感 指数(4月)	12日	ドイツCPI確報(3月)、 英国鉱工業生産・製造業生 産・貿易収支(2月)
12日	日本鉱工業生産確報(2月)、 中国貿易収支(3月)	15日	NY連銀製造業景気指数(4 月)、小売売上高(3月)	15日	ユーロ圏鉱工業生産(2月)
15日	日本機械受注(2月)	16日	住宅着工件数・建設許可件 数・鉱工業生産(3月)	16日	ユーロ圏貿易収支(2月)、 ドイツZEW景気指数(4月)、 英国失業率(3月)
16日	中国GDP(1-3月)、鉱工業 生産・小売売上高・固定資 産投資(3月)	17日	ページブック、国際通貨基金 (IMF)・世界銀行春季会合 (-19日)	17日	ユーロ圏CPI確報(3月)、 英国CPI・PPI(3月)
17日	日本貿易収支(3月)	18日	中古住宅販売件数(3月)	18日	ユーロ圏経常収支(2月)
19日	日本CPI(3月)			19日	ドイツPPI(3月)、 英国小売売上高(3月)
22日	中国最優遇貸出金利				
24日	企業向けサービス価格指数 (3月)	23日	製造業/非製造業PMI(4月)、 新築住宅販売件数(3月)	23日	ユーロ圏・英国製造業/非製 造業PMI(4月)
26日	日銀金融政策決定会合 (25日-)、東京CPI(4月)	24日	耐久財受注・製造業受注(3 月)	24日	ドイツifo企業景況感(4月)
28日	衆院補欠選挙投開票	25日	GDP速報値(1-3月)	29日	ドイツCPI(4月)
30日	日本有効求人倍率・失業 率・鉱工業生産・小売売上 高・住宅着工件数(3月)、 中国製造業/非製造業 PMI(4月)・ 財新製造業PMI(4月)	26日	個人所得・支出・PCEデフ レータ(3月)	30日	ユーロ圏CPI(4月)・ GDP(1-3月)、 ドイツ失業者数(4月)・ GDP(1-3月)
		30日	CB消費者信頼感指数(4月)、 FOMC(-5/1)		

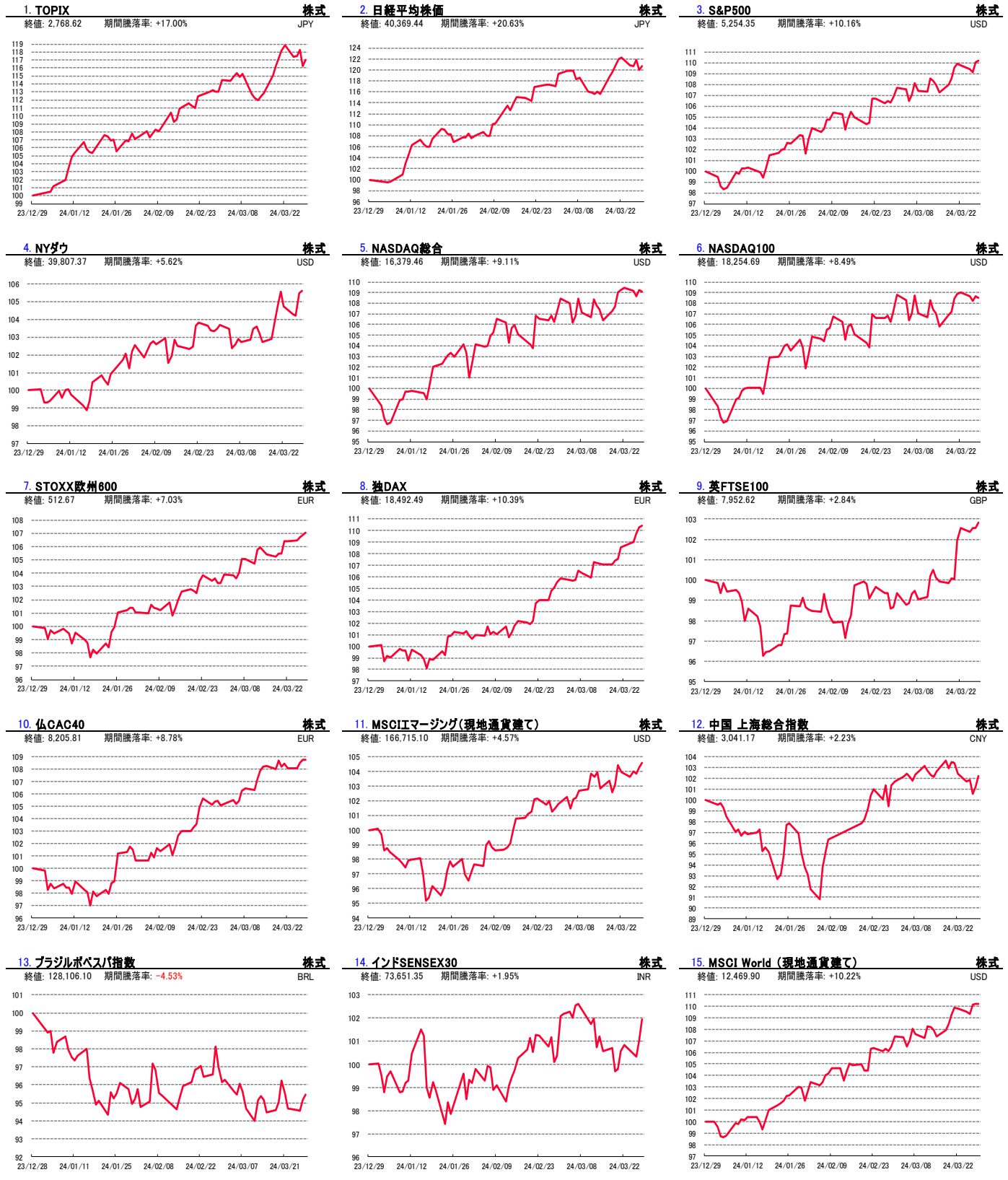
【英略語表記について】(アルファベット順)

ADP：オートマチック・データ・プロセッシング社、BSI：ビジネスサーベイインデックス、CB：コンファレンスボード、CPI：消費者物価指数、ECB：欧州中央銀行、FOMC：連邦公開市場委員会、FRB：連邦準備制度理事会、GDP：国内総生産、IFO：IFO経済研究所（ドイツ）、ISM：全米供給管理協会、JOLTS：求人労働異動調査、OECD：経済協力開発機構、PCE：個人消費支出、PMI：購買担当者景気指数、PPI：生産者物価指数、ZEW：欧州経済研究センター（ドイツ）

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

appendix

株式



※ 直近3カ月（2024年1月～2024年3月）の日足チャートです。起点(2023年12月末日)を100として指数化しています（実数値ベース以外）。

※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。

※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

appendix

債券

16. 日本国債10年 債券



17. 米国国債10年 債券



18. カナダ国債10年 債券



19. ドイツ国債10年 債券



20. 英国国債10年 債券



21. フランス国債10年 債券



22. オーストラリア国債10年 債券



23. USD投資適格社債 トータルリターン 債券



24. USD投資適格社債 対米国債スプレッド 債券



25. USDハイイールド社債 トータルリターン 債券



26. USDハイイールド社債 対米国債スプレッド 債券



※ 直近3カ月（2024年1月～2024年3月）の日足チャートです。起点(2023年12月末日)を100として指数化しています（実数値ベース以外）。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

appendix

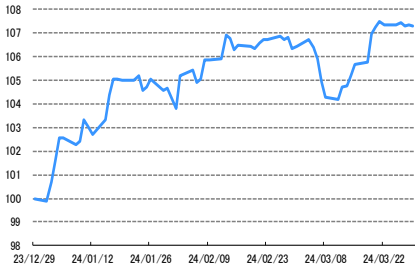
為替/コモディティ/VIX/REIT

27. USDJPY(米ドル/円)

終値: 151.35 期間騰落率: +7.31%

為替

JPY

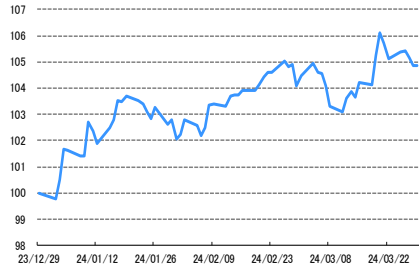


28. EURJPY(ユーロ/円)

終値: 163.30 期間騰落率: +4.87%

為替

JPY

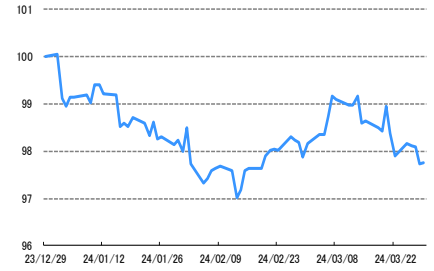


29. EUR(ユーロ/米ドル)

終値: 1.08 期間騰落率: -2.26%

為替

EUR

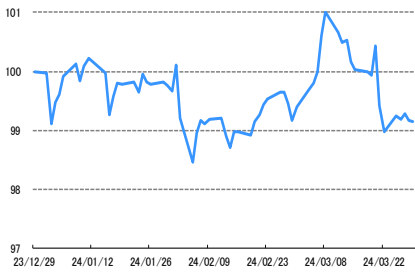


30. GBP(英ポンド/米ドル)

終値: 1.26 期間騰落率: -0.85%

為替

GBP



31. AUD(オーストラリアドル/米ドル)

終値: 0.65 期間騰落率: -4.27%

為替

AUD

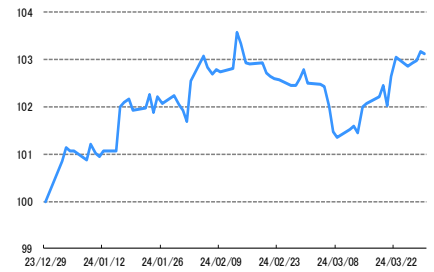


32. DXY(米ドル・インデックス)

終値: 104.49 期間騰落率: +3.11%

為替

USD

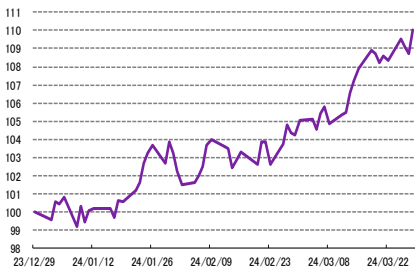


33. CRB指数

終値: 290.29 期間騰落率: +10.03%

コモディティ

USD



34. WTI原油

終値: 83.17 期間騰落率: +16.08%

コモディティ

USD



35. CMX金先物

終値: 2,217.40 期間騰落率: +7.03%

コモディティ

USD

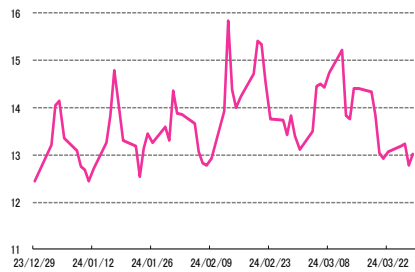


36. VIX

終値: 13.01 期間騰落率: 0.56 (実数値ベース)

VIX

USD

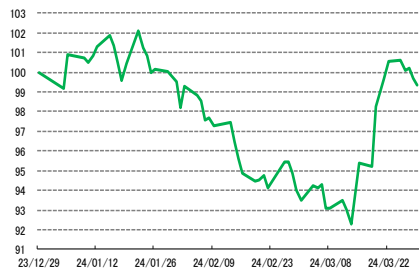


37. 東証REIT指数

終値: 1,794.97 期間騰落率: -0.66%

REIT

JPY

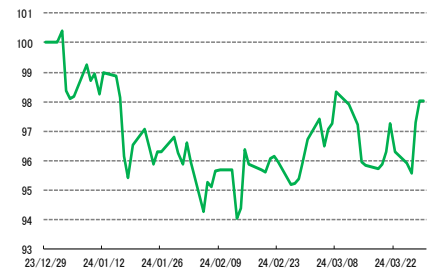


38. S&PグローバルREIT指数

終値: 174.31 期間騰落率: -1.98%

REIT

USD



※ 直近3カ月 (2024年1月~2024年3月)の日足チャートです。起点(2023年12月末日)を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてPayPayアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆しない保証するものではありません。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

【株式】TOPIX：東証株価指数、S&P500：S&P500種株価指数、NYダウ：ダウ工業株30種平均指数、NASDAQ総合：ナスダック総合指数、NASDAQ100：ナスダック100指数、STOXX欧州600：STOXX Europe 600種株価指数、独DAX：ドイツDAX指数、英FTSE100：イギリスFTSE100指数、仏CAC40：フランスCAC40指数、MSCIエマージング（現地通貨建て）：MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国上海総合指数：中国上海総合指数(Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数：ブラジルボベスパ指数(Ibovespa Index)、インドSENSEX30：S&P BSEセンセックス指数（S&P BSE Sensex Index）、MSCI World（現地通貨建て）：MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス

【債券】USD投資適格社債_トータルリターン*：ICE BofA US Corporate Constrained Index、USDハイイールド社債_トータルリターン*：ICE BofA 0-5 Year US High Yield Constrained Index

【コモディティ】CRB指数：TR/CC CRB Excess Return Index、WTI原油：WTI原油先物価格1番限、CMX金先物：COMEX金先物価格1番限、VIX：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

【REIT】S&PグローバルREIT指数：S&P Global REIT USD Index

出所：ブルームバーグ

*この資料で使用されるICE BofA 債券指数はICE data indices, LLC（以下ICE Data）の商品で、同社の許可を得て使用しています。ICE®はICE data またはその関連会社の登録商標で、BofA®はBank of America Corporationおよびその関連会社からライセンスを受けたBank of America Corporationの登録商標であり、書面による事前承認なしに使用することはできません。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示を問わず、提供するインデックスデータに関し、その継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、PayPayアセットマネジメント株式会社又はその商品もしくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

なお本稿は英文版Disclaimer, Attributionを正本とし、ご参考として説明のためにPayPayアセットマネジメントが抄訳したものであり、日本語版と英語版に矛盾や齟齬がある場合には英文版が優先します。

ICE BOFA FIXED INCOME INDICES (THE "INDEX") ARE PRODUCTS OF ICE DATA INDICES, LLC ("ICE DATA") AND ARE USED WITH PERMISSION. ICE® IS A REGISTERED TRADEMARK OF ICE DATA OR ITS AFFILIATES, AND BOFA® IS A REGISTERED TRADEMARK OF BANK OF AMERICA CORPORATION LICENSED BY BANK OF AMERICA CORPORATION AND ITS AFFILIATES ("BOFA") AND MAY NOT BE USED WITHOUT BOFA'S PRIOR WRITTEN APPROVAL. ICE DATA, ITS AFFILIATES AND THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY DATA INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM. NEITHER ICE DATA, ITS AFFILIATES NOR THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS SHALL BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES OR THE INDEX DATA OR ANY COMPONENT THEREOF, AND THE INDICES AND INDEX DATA AND ALL COMPONENTS THEREOF ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK. INCLUSION OF A SECURITY WITHIN AN INDEX IS NOT A RECOMMENDATION BY ICE DATA TO BUY, SELL, OR HOLD SUCH SECURITY, NOR IS IT CONSIDERED TO BE INVESTMENT ADVICE. ICE DATA, ITS AFFILIATES AND THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS DO NOT SPONSOR, ENDORSE, OR RECOMMEND PAYPAY ASSET MANAGEMENT CORPORATION, OR ANY OF ITS PRODUCTS OR SERVICES.

ICE BofA Fixed Income Indices are products of ICE Data Indices, LLC and are used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by PayPay Asset Management Corporation. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks.